

INAKEN PRESS

稲津けんご通信

【編集・発行】稲津けんご後援会 【編集責任者】稲津 憲護
【お問合せ】〒183-0041 東京都府中市北山町 2-26-15
☎: (042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com



～曲げない 負けない あきらめない～

誰も見捨てない地域社会に 2016年1月

一般質問① 保育所待機児童の対策を！

昨年の12月1日(火)に、市議会では一般質問が行われ、稲津けんご氏は「保育所待機児童対策」と「広報のあり方」について、行政側と議論を交わしました。

2015年4月に発表された府中市の保育所待機児童数が352名と東京三多摩で最も多くなった現状から、今後の待機児童数削減への取り組みと課題解決に対する市の姿勢を正しました。

待機児童対策の1つとして「家庭的保育事業(保育ママなど)がありますが、府中市でそれが進んでいない理由の1つに、連携施設の確保が不十分」な点があることが市の答弁から明らかになりました。

一例を挙げると、0～2歳児を家庭的保

育で対応した場合、2歳を超える段階で別の施設やサービスを探す必要が出てきます。切れ目なくサービスを受けるようにするためにも、家庭的保育を行なう民間事業者に、連携施設の確保を求める必要がある旨が市から述べられました。

これに対し稲津氏は、家庭的保育事業への参入を考えている事業者には「連携施設の確保」の条件が重くのしかかって参入しにくくなる点を指摘し、市として事業者をしっかりとサポートすべきと主張し、待機児童数の問題解決に取り組むよう訴えました。



一般質問② 市は広報紙を全戸配布せよ！

稲津氏は保育所待機児童対策に続き、府中市の広報について質問しました。

その中で稲津氏は、広報紙『広報ふちゅう』の1回の発行部数が約9.3万部(※府中市の全世帯数は約12万)にとどまっていることと、新聞折込が基本となっていることを厳しく断じ、くまなく全市民に行き渡る「全戸配布」が必要であると主張しました。

答弁の中で、市は全戸配布のコスト高を懸念していましたが、稲津氏は2015年の市政世論調査において「月2回以下の発行でも良い」という回答が全体の半数以上を占めた点を挙げて、発行回数を減らしてでも全戸

配布にすべきであると訴えました。

また、TV広報番組『まるごと府中』においても「詳しくは『広報ふちゅう』をご覧ください」とだけ案内するケースが多く、その点からも『広報ふちゅう』は全市民の手元にあるべきだと主張しました。

尚、稲津氏は同番組での案内で視覚障害者に対する配慮が足りていない点も指摘しましたが、これに対する市側の答弁は無く、今後の市の姿勢において大きな課題が残る形となりました。

「ご覧ください」って言われても、手元にないし、連絡先も...





コラム

車いすから見た世界



No.5 (終) 支えがあってこそ

府中市議会議員選挙 2 週間前の左アキレス腱断裂。選挙戦に臨むことすら絶望的と思われましたが、周囲の方々の支援により戦いぬくことが出来ました。

「ケガをしたことは（選挙戦に）決して悪いことではない」と励ましてくれた友人。「あれこれ無茶をせず、患部をいたわることも考えなさい」と叱ってくれた選挙スタッフ。「車いすで頑張る姿を見て初めて選挙へ行くことにした」と声をかけてくださった市民の方。

「(車いす経験で見た)町の改善点を市政に活かしてください」と SNS でコメントを寄せてくださった方。挙げればきりがありませんが、本当に多くの方の支えがあって、今の「稲津けんご」があると感じています。

現在は車いすや松葉杖を手放し、自分の足で踏みしめる喜びも感じています。しかし、手術の痕を見るたびに車いす時代を思い出し、その経験があったからこそ政治活動に向けて一歩ずつ前進したいと考えています。

「誰も見捨てない地域社会」を目指して。

第4回定例会総括 次なる動きは？

府中市第 4 回定例会が 11 月 27 日(金)から 12 月 14 日(月)までの日程で開催されました。稲津氏の一般質問は裏面の通りですが、他の議員からは、高野市政の総括や、マイナンバー制度、LGBT(いわゆる性的少数にある方々)への対策などに関する質問も挙がりました。

市民の方からは、「安保法案廃止」を求める意見書提出の陳情が出されました。議会ではまたしても、大変不本意ながら否決されましたが、採決前に稲津氏は、憲法改正も含めて正しく段取りを踏んでから検討すべきだと陳情への賛成意見を述べました。

今回も含め 3 回も同様の陳情が出ていることは、誰もが重く受け止めるべきでしょう。

さて、今回の議会後に高野市長が任期満了を迎えることもあり、2016 年 1 月 31 日(日)投開票予定の府中市長選をにらんだ動きが徐々に活発化するものと見ています。

府中駅南口再開発、新庁舎建設、公共施設の建替・再編問題などが争点となるでしょう。2015 年 9 月時点で高野市長は出馬を表明しています。稲津氏もこれまでの実績を高く評価し、高野氏支持を表明しています。

ここ数年、選挙の投票率低下が叫ばれていますが、今回予定される選挙では、1 人でも多くの方に投票所に足を運んでいただきたいと考えています。



稲津けんご

【プロフィール】

1968 年 北山町生まれ
西原町在住。北山保育所

府中七小、和光中、都立狛江高校、米国南アラバマ大学学士号。民間での勤務を経て、1998 年に米国ピッツバーグ大学院修士号取得。

1999 年から 3 期 12 年、府中市議会議員として活動。父の介護や民間勤務を経て 2015 年の市議選挙で 4 期目当選。



スタッフのつぶやき

2015 年は稲津けんご氏にとって、正に激動の 1 年でした。目まぐるしくも充実した 1 年を過ごしたようです。「2016 年は冷静に対応しつつも初心を忘れず活動したい」と話していました。

さて、多くのご要望にお応えして、2016 年から、後援会発行の『稲津けんご通信』もフルカラーになります。引き続き宜しく願いいたします。(Y. K.)